

おひがしいず

議会だより

伊豆箱根

朝市

2025 No.319  
4月号

毎週土日祝 雨天実施  
午前8時～12時

週末盛り上げ隊！チーム港の朝市

12ページにて紹介

住み続けられる町づくりへ  
令和7年度予算審査

一般質問・・・6～9  
かがやくまちのひと・・・12



議会HP

第1回  
定例会

令和7年度一般会計予算を可決

災害に備え、未来も住み続けられる町づくりへ

定例会の  
あらまし

令和7年第1回定例会を3月6日から24日までの公の施設の管理者指定2件、各会計の補正予算8件、会しました。一般質問は1人60分以内とし、7人の

19日間の日程で開催し、補正予算の専決承認1件、条例改正15件、新年度予算7件、農業委員選任の同意案10件を可決・同意して閉議員が登壇しました。(6～9ページ参照)

Pickup ① 災害用トイレ整備事業

1,900万円

災害時でも平時のイベントなどでも使用できるトイレトレーラーを導入します。併せて、バイオトイレやラップポイントレッカーなども備えます。



トイレトレーラー  
出展：北杜市ホームページ

Pickup ② 子ども達の一人一台端末

3,740万円

小中学校で使用している学習端末を更新し、学習活動のより一層の充実に努めます。



学校で使用している端末を更新

Pickup ③ 巡回型グリスロ実証実験

1,400万円

※グリスロとはグリーン  
スローモビリティの略



カート型車両  
出展：環境省ホームページ

カート型の車両が30分程度で稲取地区を1周し、予約なしで利用できる交通の実証実験をします。次世代の移動手段の一つとして、観光客や住民の方にとってのメリットや費用対効果などを調査します。

Pickup ④ よりみち135改修事業

1億円



旧稲取幼稚園が全世代の交流拠点に生まれ変わります。ワーケーション&学習スペースや小さな子ども達が室内で遊べるスペースなどを整備します。

Pickup ⑤ 分娩施設通院費用補助

132万円

遠方の産科での検診や分娩時の交通費や宿泊費を支援します。



Pickup ⑥ 後期高齢者人間ドック補助

75歳以上の疾病予防・重症化対策やフレイル対策のため、人間ドック費用を助成します。

Pickup ⑦ 小学校の空調機器設置

熱川小、稲取小の音楽室、理科室にエアコンを新たに設置します。

令和7年度予算は広報ひがしいず4月号で見ることができます。



## 議員からの予算質疑抜粋

### 地域施設の活用

**Q** 地域力創造アドバイザー業務委託料により、どのような業務を予定しているか。

**A** 廃ホテルの活用や稲取の見晴台、クロスカントリーコースの展望台の辺りでカフェはできないか、また旧百山荘の活用等も検討している。

### ごみ収集

**Q** ごみ収集委託料について、前年度4,431万5千円から新年度5,779万4千円への増額の要因は。

**A** 今回は公共単価、県単価を使って機械的に計算できる形で精査したところによる。これまで見積合わせを行った結果、金額が折り合わない事が多々あり、業者と交渉した中で事務を行っていた。

### 子育て支援

**Q** 分娩施設通院費用助成費と妊婦健診通院費用等助成費の対象は。

**A** 分娩施設通院費について順天堂静岡病院を想定。通院時間60分以上でハイリスクの方。

### 観光対策

**Q** 町観光宣伝委託料の内訳は

**A** 姉妹都市事業の一環で、SBCラジオ企画のバスツアーで、毎年補正で対応していた業務110万円を当初予算計上とした。他に伊豆急行のキンメ列車改装費で168万円となっている。

### 健康づくり

**Q** 後期高齢者人間ドック150万円の予算措置は何人くらい見込んでいるか。国保から後期になり、途切れた方への周知の仕方はどのように行うか。

**A** 3万円を上限に50人分を計上した。周知方法については、4月の健診案内と一緒に通知文書を同封する、町HPや広報「ひがしいず」でも行う予定である。

### 教育環境

**Q** 中学校部活動地域移行推進協議会委員報酬は、何人で何回を予定しているか。

**A** 部活動地域移行推進協議会については、小中学校の保護者代表4名と有識者2名、スポーツ団体4名の計10名を予定しており、年2回開催予定。国から努力義務の設置年度である令和7年度に設置予定。

### 水道事業

**Q** 料金審議会の予算を計上しているが、いつ頃からどのように開催していくのか。

**A** 来年度経営戦略の見直し予定、浄水場の方向性も決まってきた、ある程度目途がついてきたら、令和7年度中には審議会を開催したいと思っている。

予算審査報告書についてはホームページで確認できます。  
ホーム（くらし行政）> 議会 > 委員会 > 予算・決算審査特別委員会



# 意見を付して予算を可決 さらなる実績検証を

予算審査  
特別委員会

令和7年度  
予算  
可決

第1回定例会で提出された令和7年度一般会計・特別会計の当初予算は、予算審査特別委員会に付託し3月10日、11日、12日、21日の4日間にわたり審議しました。審議の結果、以下の意見を付し予算を可決しました。

## 提言1 適正な補助金支出について

町長が会長を務める協議会への補助金支出は見直しが望ましい。特別な事由がある場合は議会と監査委員に通告し、行政監査を受けるべきである。また、補助団体を經由し別団体が事業を行うケースも公正性を損なう恐れがあり、改善が必要である。

## 提言2 ごみ堆肥化事業について

ごみ堆肥化事業の収入268万円に対し、支出は3,180万円。事業実施は意義あることなので、現在の稲取地区宿泊施設対象を、全町に広げる計画・目標を策定するよう取り組まれない。

## 提言3 観光関連予算に対する事業検証の報告について

観光関連事業は、複雑になり内容の把握や事業効果もわかりにくい状況にあるが、事業実施の効果はこれまでは、年間宿泊者数とされてきた。新年度予算では個別に人件費が計上され、それぞれの補助金等の事業において、費用対効果の検証が容易になったと考える。町は観光協会等補助金団体に対して、事業の検証ができる事業報告の作成を求めようにされたい。

## 提言4 福祉事業や健康づくりの取り組みについて

高齢化率47%超の当町では、安心して暮らせるまちを目指す上で、行政の事業実績・効果を町民全体に広げることが課題となっている。国の重層的支援体制でも町民・ボランティア参加が重要であり、協力者づくりを進めるべき。町民参加を強化し、福祉と健康づくりを充実させ、安心のまちづくりを実現されたい。

## 提言5 老朽化している水道施設設備の可視化について

老朽化が進んでいる水道の施設設備改良には多額の資金が必要であり、水道料金の改定が必要となる。しかし町民には、地盤沈下や亀裂の入った浄水場施設や漏水の実態、配管破損事故に直結する耐用年数切れの水道管の状況などは全く知られてはいない。

今年度AIを使った水道管理システムを導入することから、老朽化の実態を分かりやすく可視化し、町民との情報共有を進めることを求める。水道事業の課題の打開には、町民の理解を得る必要がある。



### Q 小中学校の統合を何年後に考えているのか

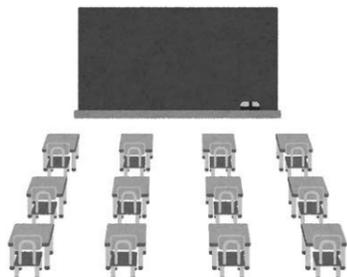
A 少なくとも6年程度は必要



西塚 孝男 議員



Q 出生数が年々低下している中で、町は小・中学校の統合を何年後に考えているのか。  
A 新しい学校を整備するためには、一般的には用地等の条件が整ってから基本構想と基本計画の策定に大体2年、校舎等の設計に2年、工事2年の少なくとも合計6年程度の期間を要すると考える。また学校の統合に関しては町だけではなく、例えば統合に伴って職員数が変わるため県の承認



寂しいな～昔が懐かしいよ！

Q 新型コロナ感染症対応で、高齢者にとつて最大の課題は購入費用ではなく必要性の理解や操作方法にあると考えることから、環境作りを進めたいと考えている。  
A 新型コロナ感染症対応で、高齢者にとつて最大の課題は購入費用ではなく必要性の理解や操作方法にあると考えることから、環境作りを進めたいと考えている。  
Q 今ある学校を使ったらどうか。  
A 当町の校舎は一般的に言われる70年の耐用年数に近づいてきており、今後の改修や建て替えを考慮すると難しい面があるため、そういう点も含めて統合を検討している。  
Q まずは統合してから新しい校舎を作ったどうか。  
A 子どもたちが新しい環境でスタートを切り、またすぐに新しい環境へ移るといふことについては慎重な議論が必要。移転のコスト等、財政的な面も含め幅広い視点で考える必要がある。

### Q 各分野の現状と課題は

A 個別計画に反映させる



山田 直志 議員



Q 「東伊豆町まちづくり総合指針」は町政上どのような位置づけか。  
A 最上位は町の「国土強靱化計画」で、「まちづくり総合指針」はその次に位置づけられる計画となる。  
Q これまでの総合計画との違いは。  
A 過去の総合計画は町民にとつて読みにくく、町の進む方向や優先順位が分かりにくい、また財源的裏付けがなく実行性が乏しい等の課題があった。今回作成した総合指針では内容に機動性・柔軟性



「厚さ・薄さ」だけではない「差」があります

Q 新たな調査等は予定していない。工事実施に伴う測量や設計は必要となる。  
Q 通行止めに伴う交通安全対策はどのようなことをされたか。  
A 橋の両岸にバリケードを設置。国道にかかる側道橋から町道に降りる部分の歩道の切り下げ、側道橋入口の段差の解消を実施した。  
Q 令和4年の白田区・片瀬区の要望書に対する対応は。  
A 様々な検討を行っている。全体像を明確にするため、架け替え費用やスケジュール把握のための概略設計を実施。これまでの検討結果を客観的に整理しているところ。  
Q 町長就任中に結論を出すか。  
A 取り壊しは新年度に実施し、必要な情報の整理・確認を行いながら状況が整えば可能な限り早急に報告する。

### Q 現在の町公式LINEの登録者数は

A 2月25日現在で5,907人となっている



山田 豪彦 議員



Q 町公式LINEに登録するとどんなことができるのか。  
A 友達登録をすると町政情報や暮らしのお役立ち情報、イベント情報、防災情報を受け取ることができる。  
Q 未登録者の登録を増やすために戸別訪問をする考えは。  
A 現在のところ訪問による対応は考えていない。しかし今後も登録者を増やすための取り組みが必要であり、世代やターゲット



町の公式LINE

Q 情報発信の回数と時間を定刻にする考えは。  
A 情報発信は各担当課が適当と判断した時間に行っている。LINEについては、必要な時にいつでも確認できるため、定刻に固定せず随時発信していきたい。  
Q 高齢者スマホ購入補助金を復活させる考えは。  
A 新型コロナ感染症対応で、高齢者にとつて最大の課題は購入費用ではなく必要性の理解や操作方法にあると考えることから、環境作りを進めたいと考えている。

### Q 白田川橋の検討結果と今後について

A 新年度に取り壊しを行い、状況が整えば可能な限り早急に報告する



鈴木 伸和 議員



Q 3年間どのような調査検討がされたのか。また、各々の費用と結果は。  
A 架け替えに伴う概略設計業務（319万円）で事業費7億円、10年の工期が必要と示された。他に解体工事の設計業務（70万円）、橋台調査業務（231万円）、方針検討業務（62万円）等を実施し、方針検討では単純撤去が望ましいとの結果を得た。令和6年度は白田片瀬コンパクトシティ検討会議の中で橋の必要性も検討中。  
Q 今後まだ必要とする調査検討内容があるか。  
A 様々な検討を行っている。全体像を明確にするため、架け替え費用やスケジュール把握のための概略設計を実施。これまでの検討結果を客観的に整理しているところ。  
Q 町長就任中に結論を出すか。  
A 取り壊しは新年度に実施し、必要な情報の整理・確認を行いながら状況が整えば可能な限り早急に報告する。



取り壊しが決定した白田川橋

Q 新たな調査等は予定していない。工事実施に伴う測量や設計は必要となる。  
Q 通行止めに伴う交通安全対策はどのようなことをされたか。  
A 橋の両岸にバリケードを設置。国道にかかる側道橋から町道に降りる部分の歩道の切り下げ、側道橋入口の段差の解消を実施した。  
Q 令和4年の白田区・片瀬区の要望書に対する対応は。  
A 様々な検討を行っている。全体像を明確にするため、架け替え費用やスケジュール把握のための概略設計を実施。これまでの検討結果を客観的に整理しているところ。  
Q 町長就任中に結論を出すか。  
A 取り壊しは新年度に実施し、必要な情報の整理・確認を行いながら状況が整えば可能な限り早急に報告する。

# 高齢者福祉に関する調査報告書を提出

文教厚生常任委員会では、令和6年9月から行ってきた高齢者福祉に関する所管事務調査の報告書を作成、町に対し以下のような提言を行いました。

## 高齢者福祉を支えている現場の声を聞くべき

町長は、町の福祉事業と福祉・介護の現場の方々から、高齢者の現状についてしっかりと聞くべきである。



報告書はコチラ

## 健康づくりは町民みんなの課題に

これまで「自分の健康は自分で守る」をスローガンにしてきたが、「健康づくりは町民みんなの課題」と位置づけよう。

## 「支え合う東伊豆」等の福祉関連事業の充実を

歳を重ねると「買い物」だけではなく、生きることにすべての場面で手助けが必要となる。高齢者の支援に関わる町民を増やしていくことが極めて重要であり必要である。

## 高齢者への広報手段の再検討を

町が発信した情報がしっかりと伝わり共有されているか検証が必要である。



## 地域包括支援センターの抜本的な拡充強化を

独居老人や高齢者夫婦に対応するために、各地区やマンション等へ出向き、高齢者と町とをつなげる取り組みを拡大されたい。また、成年後見人制度や「終活ノート」の取り組みをさらに進められたい。

## 上乘せ横出しの介護サービス体制の充実を

介護保険料は低い介護サービスの体制が足りていない。必要なサービスを受けられるように上乘せや横出しによる介護施策・体制の充実を求める。

## 介護事業所への経営支援を

人材確保等について事業者と連携し取り組まれたい。

# 一部事務組合議会議員からのお知らせ

## 東河環境センター

資源ごみ処理業務の対象事業者を近隣から県東部へ拡大し、「資源ごみ売払い収入」が増加しました。従来の古紙類・圧縮アルミに加え、令和6年度からは鉄スクラップ・破碎鉄・破碎アルミ・圧縮鉄（缶）が収入品目となっています。

## 駿東伊豆消防

令和6年4月1日付けで木梨消防署長が着任しました。また東伊豆署庁舎に関わる修繕として、1階受付室の防火シャッター連動感知器の改修や2階トレーニングルーム外壁の雨漏り修繕等が実施されました。

## 下田メディカルセンター

賀茂医療圏の「連携拠点・積極的医療機関」に決定しました。

また、旧共立湊病院の解体が完了、土地については1年間検討の上、民間へ売却も検討します。

指定管理者との契約期間が令和9年3月迄となるため、今後の方針を協議していきます。

## 伊豆斎場

大規模修繕が完了したため、今後の施設整備・修繕に対応できるよう、伊豆斎場建設基金条例の一部を改正しました。

# 第1回定例会の議案と各議員の賛否

○ 賛成 × 反対  
※議長は採決に加わらない

議案名	採決結果	山田豪彦	鈴木伸和	楠山節雄	※笠井政明	稲葉義仁	栗原京子	西塚孝男	須佐衛	村木脩	内山慎一	定居利子	山田直志
<b>条例の一部改正等</b>													
議案第1号 地方自治法の一部を改正する法律施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定	可決 (11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号 刑法等の一部を改正する法律施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定	可決 (11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定	可決 (11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号 中小企業及び小規模企業振興基本条例の制定	可決 (11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号 住民参加型自家用有償旅客運送条例の制定	可決 (10:1)	○	○	○	-	○	○	○	×	○	○	○	○
議案第6号 特別職の職員で常勤の者の給料等に関する条例の一部改正	可決 (11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号 職員の給与に関する条例の一部改正	可決 (11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号 会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正	可決 (11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号 消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正	可決 (11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号 非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正	可決 (11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号 観光施設整備基金条例の一部改正	可決 (11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号 水道事業給水条例の一部改正	可決 (11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号 公営企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正	可決 (11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第14号 風力発電事業特別会計条例を廃止する条例	可決 (11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第15号 風力発電事業基金条例を廃止する条例	可決 (11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第16号 県市町総合事務組合理約の一部変更	可決 (11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第17号 公の施設の指定管理者の指定（東伊豆町いきいきセンター）	可決 (11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第18号 公の施設の指定管理者の指定（東伊豆町奈良木ヶやき公園）	可決 (11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>補正予算</b>													
専決承認第1号 専決処分の承認を求めることについて（令和6年度一般会計補正予算（第10号））	可決 (10:1)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第19号 令和6年度一般会計補正予算（第11号）	可決 (11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第20号 令和6年度国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	可決 (11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第21号 令和6年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決 (11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第22号 令和6年度介護保険特別会計補正予算（第3号）	可決 (11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第23号 令和6年度稲取財産区特別会計補正予算（第1号）	可決 (11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第24号 令和6年度町風力発電事業特別会計補正予算（第1号）	可決 (11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第25号 令和6年度幼児教育アドバイザー共同設置事業特別会計補正予算（第1号）	可決 (11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第26号 令和6年度水道事業会計補正予算（第4号）	可決 (11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>予算審議</b>													
議案第28号 令和7年度一般会計予算	可決 (11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第29号 令和7年度国民健康保険特別会計予算	可決 (11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第30号 令和7年度後期高齢者医療特別会計予算	可決 (11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第31号 令和7年度介護保険特別会計予算	可決 (11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第32号 令和7年度稲取財産区特別会計予算	可決 (11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第33号 令和7年度幼児教育アドバイザー共同設置事業特別会計予算	可決 (11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第34号 令和7年度水道事業会計予算	可決 (11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>同意案</b>													
同意案1号～10号 農業委員会委員の選任	可決 (11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>議員発議・意見書</b>													
発議第1号 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	可決 (11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書案第1号 伊豆縦貫自動車道の早期全線開通を求める意見書	可決 (11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書案第2号 公立の義務教育諸学校の適正な教員数の維持・確保を求める意見書	可決 (10:1)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	×
意見書案第3号 訪問介護報酬引き上げの再改定を早急に求める意見書	可決 (11:0)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書案第4号 選択的夫婦別姓制度の議論の活性化を求める意見書	可決 (10:1)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	×

# かがやく まちのひと

Vol.21

「元気な町に」が合言葉!!  
稲取漁港に根付いて22年。今回は  
港の朝市に伺ってきました。



代表の内山雄志さん



会場図

「いつ頃からどんな方々で活動していますか。」  
2002年3月から町内の生産者、農家、地元の商品を使って製造販売している商店の皆さんに、農協、漁協も加わり発足しました。6軒の方は当初から頑張って営業しています。現在は22軒が出店して、土日祝日の8時から12時に開催、年末・年始やお盆の時期も営業しています。金目鯛の釜めしはTVで何度も紹介され、今では開店前から行列ができる程の人氣で、最高300食売った事もあります。また、金目鯛の味噌汁は無料（現在は朝市協力金30円）



にぎわう会場の様子

で振舞っており、こちらも毎回200食前後の名物になっています。伊豆地場産業研究会の「トロポポンチ」は、稲取のトコロンテンにフルーツ味をつけてラムネを注ぎ入れたご当地スイーツとして開発、春先からは人氣の商品です。他にも多数のオリジナル商品があり賑わっています。

「どんな思いで開催していますか。」  
発足当初は8軒で、売り上げが0円だった頃もありましたが「継続は力なり」を合言葉に頑張っ

てきました。元気な町にできるようお客様との会話を大事に対面式にこだわって出店しています。

「今後の展望は。」  
おかげさまで稲取漁港直売所「こらっしえ」がオープンして相乗効果もあり賑わっています。しかし立体駐車場の1階だという事もあり薄暗い事が気になっています。今後は照明をLEDにしたり提灯で飾ったりして、会場全体を明るく季節感のあるものにしていきたいと思っています。また、駐車スペースが確保できれば、役場海側を歩行者天国にしてフリーマーケットの開催など地元の人達も楽しめるイベントができればと考えています。「港の朝市」が、更に愛されよう頑張っていきたいと思っています。

議会広報編集委員会

- |      |      |      |      |      |      |
|------|------|------|------|------|------|
| 委員   | 委員   | 委員   | 委員   | 副委員長 | 委員長  |
| 山田直志 | 笠井政明 | 鈴木伸和 | 山田豪彦 | 稲葉義仁 | 栗原京子 |

議員報酬と職員等給料の比較

	議会				特別職(三役)			新規職員		
	議長	副議長	委員長	議員	町長	副町長	教育長	大卒	短大卒	高卒
平成15年	300	230	223	210	675	579	513	172	155	144
令和6年	240	184	178	168	609	522	462	202	192	171
変動額	▲60	▲46	▲45	▲42	▲66	▲57	▲51	▲31	▲37	▲27

議員報酬と職員等給料の比較

	議会				特別職(三役)			新規職員		
	議長	副議長	委員長	議員	町長	副町長	教育長	大卒	短大卒	高卒
平成15年	300	230	223	210	675	579	513	172	155	144
令和6年	240	184	178	168	609	522	462	202	192	171
変動額	▲60	▲46	▲45	▲42	▲66	▲57	▲51	31	37	27

お詫びと訂正  
議会だより1月号P9の議員報酬の現状と比較において、「議員報酬と職員等給料の比較」グラフに誤りがありましたので、左表の通り訂正しお詫びいたします。